

ふりがな 氏名	ペレスベラスコ ジャンコ	都道府県	東京都	
	ペレスベラスコ・ジャンコ			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トビタテ留学 JAPAN 6期生（国際教育留学）</li> <li>・早稲田大学政治経済学部</li> </ul>			
私のESD活動	世界中の教育機関で国際教育のワークショップの開催			
関心・活動のSDGs				

## 活動の概要

トビタテ留学 JAPAN の6期生として 2017 年 4 月～2018 年 2 月までアメリカ、フィンランド、オランダの小学校～高校で計 500 人以上の児童に国際教育関連のワークショップを行いました。具体的な内容としては、それぞれの平和の定義を議論し、個々の平和の定義が書かれた折り紙で折り鶴を1000羽集め、その折り鶴で作った千羽鶴を広島に寄付する「Peace プロジェクト」や異文化理解と偏見の形成過程を学べる「レヌカの学び」というワークショップを行ったり、言語に含まれる文化性について議論し合い世界共通語が持つべき特徴を考える「世界共通語ワークショップ」など数多くのプログラムをそれぞれの国や学校の特色に合わせて行いました。これらの活動を通して未来の社会を担う次世代の子供たちに地球市民としての意識を根付かせることを目標として活動してきました。加えて、各国の教育関係者(教員・学生・教授・教育委員会職員)へのアンケート・インタビュー調査をすることで各国の教育制度について研究しました。Peace プロジェクトに関しては無事子供たちの願いが書かれた 1000 羽の折り鶴を集められ、8/26 に広島に寄贈しました。

また帰国してからは母校の全校生徒 600 人に留学での成果報告とパネルディスカッションへの登壇、異文化理解教育に関するイベントの主催、フィリピンとミャンマーの孤児院でワークショップ開催など国際教育や異文化理解の普及と地球市民意識の醸成に関わる活動を精力的に行っています。

## 今後の活動の展望と周囲や社会への還元

私は将来国際機関職員の立場から途上国に政策提言を行い、より公正な経済発展と地球市民意識の普及を実現したいと考えています。そのためには教育の持つ潜在的な可能性についてより深く知ることはもちろん、より多くの人々に国際教育や異文化理解教育、ESD について知ってもらう必要があります。そこでこのコンファレンスで出会った人々との繋がりを活かし、ESD 日本ユースとして、今まで行ってきた活動をより広範囲に、そしてより頻繁に開催して自身の知見を深めながら、持続可能な社会に向けた議論と関心を広めていきたいと思っています。具体的にはパネルディスカッションやワークショップをそれぞれのメンバーが活躍しているフィールドで一緒に開催することを考えています。私の場合であれば、大学や教育機関で教員向け・学生向け・一般人向けとそれぞれの人に合わせたワークショップを開催していきたいと考えています。より日本で ESD 実践されるような教育制度作りをするためにも教育政策を立案し、積極的に政府機関に提言していきたいと考えています。